学校番号	301

令和２年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」教育芸術社						
副教材等	Music Navigation						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野に
　ついて学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。また実技の評価は自己の音楽経験で大きく左右されないように形成的評価をします。つまり、今の自分のレベルから努力して上達した部分を評価します。
・音楽の授業を通して表現力と伸ばし、豊かな感性を高め、音楽が生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現するために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表わしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 学習の取り組み状況 （観察・聴取） ワークシートの作成状況	学習の取り組み状況 （観察・聴取）	実技課題進度状況 学習の取り組み状況 （観察・聴取）	学習の取り組み状況 （観察） ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	楽しく歌おう	校歌 翼をください ふるさと ほらね、　他	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどうように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターに挑戦	音階 かっこう 明日があるさ　他	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらを生かして表現を工夫している。 c:様々な曲を演奏するために必要なギターの基本的な演奏の技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	音楽を聴く力をつけよう	バレエ音楽 ボレロ （ラヴェル）	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
2学期	ハーモニーを味わおう	故郷 ドレミの歌　他	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す、特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターアンサンブルを楽しもう	第3の男	○		○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:タブ譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	芸術歌曲に親しもう	カーロ・ミオ・ベン	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	伝統芸能を知ろう	能楽演習	○			○	a:能楽における声や楽器の特徴と表現上の効果について関心をもち感じ取っている。 d:我が国や郷土の伝統音楽の種類や特徴について理解し鑑賞している。	観察 ワークシート
	ヴォイスパーカッションに挑戦	サザエさん	○	○	○		a:ア・カペラのアンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:ヴォイスパーカッションにおけるドラム譜を読み、それらの働きが生み出す、特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	声の魅力を探ろう	サウンド・オブ・ミュージック	○			○	a:総合芸術ミュージカルの特徴に、関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、演奏解釈したり、それらの価値を考えたりしてミュージカルに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a: 音楽への関心・意欲・態度　　b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能　　d: 鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。